

2023年3月期決算説明会

2023年4月28日

栄研化学株式会社

(証券コード: 4549)



EIKEN CHEMICAL CO.,LTD.

1. 2023年3月期 決算概要
2. 2024年3月期 業績予想と重点施策
3. サステナビリティ

2023年3月期 決算概要

■ 2023年3月期の総括

- 連結業績は増収・減益
 - ✓ 各種検診の再開や外来患者数の回復傾向、一時的な特許料収入増もあり増収
 - ✓ 研究開発費等の販管費の増加、原材料・輸送・資源高によるコスト増により減益
- EIKEN ROAD MAP 2030および新中期経営計画策定
- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 包括的遺伝子変異検査システムの薬事申請
- 新研究棟の竣工・稼働開始
- 尿試験紙の製造設備の増強
- 新製品
 - ✓ 高感度イムノクロマトシステム『Exdia EKテスト Influenza A+B』
 - ✓ 「OCセンサーCeres」IVDR※ CE製品 など

※IVDR: 欧州体外診断用医療機器規則



EIKEN CHEMICAL CO.,LTD.

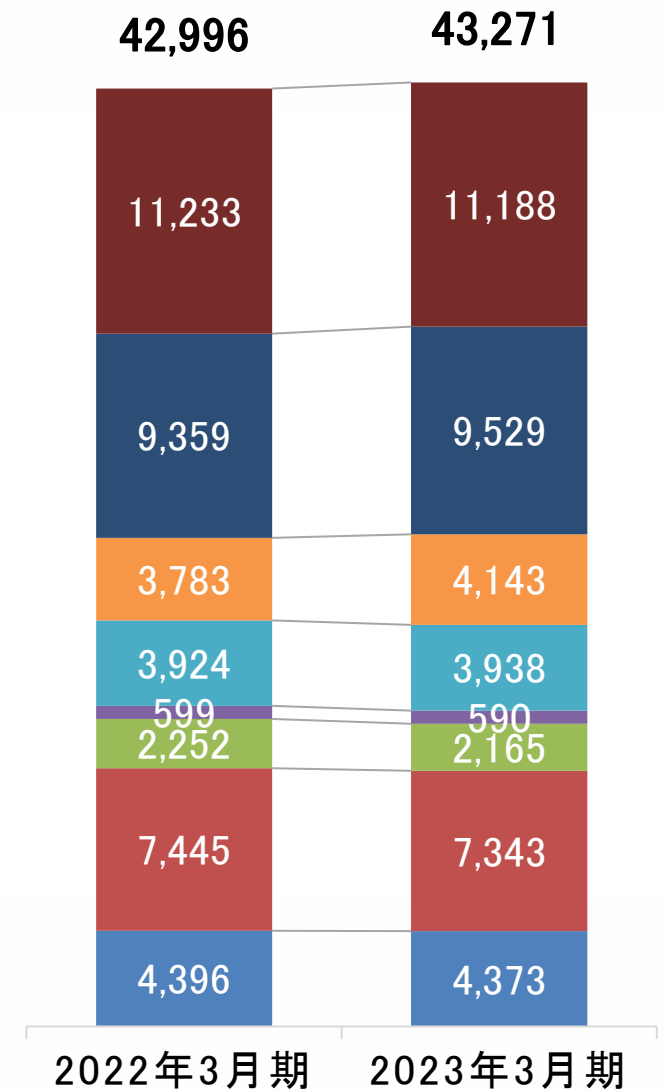
■ 連結業績

	2022年3月期		2023年3月期		前期比		(百万円) 対予算 [※]
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率	達成率
	売上高	42,996	100.0%	43,271	100.0%	275	100.6%
（うち海外向け売上高）	8,868	20.6%	8,797	20.3%	△ 71	99.2%	99.2%
売上総利益	20,572	47.8%	20,506	47.4%	△ 65	99.7%	98.7%
販売費及び一般管理費	12,184	28.3%	13,049	30.2%	864	107.1%	98.1%
営業利益	8,387	19.5%	7,457	17.2%	△ 930	88.9%	99.8%
経常利益	8,508	19.8%	7,568	17.5%	△ 940	89.0%	100.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,218	14.5%	5,736	13.3%	△ 482	92.2%	98.9%

※修正後予算(2022年9月20日業績予想修正)

■セグメント別売上高

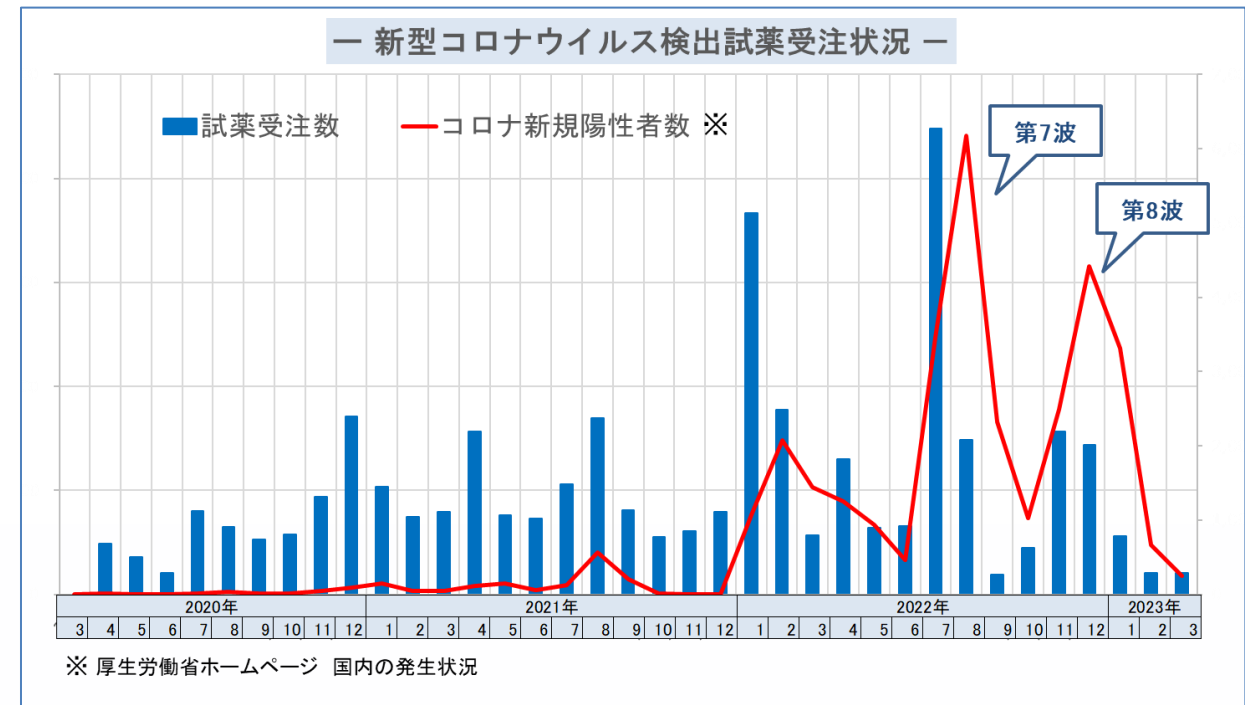
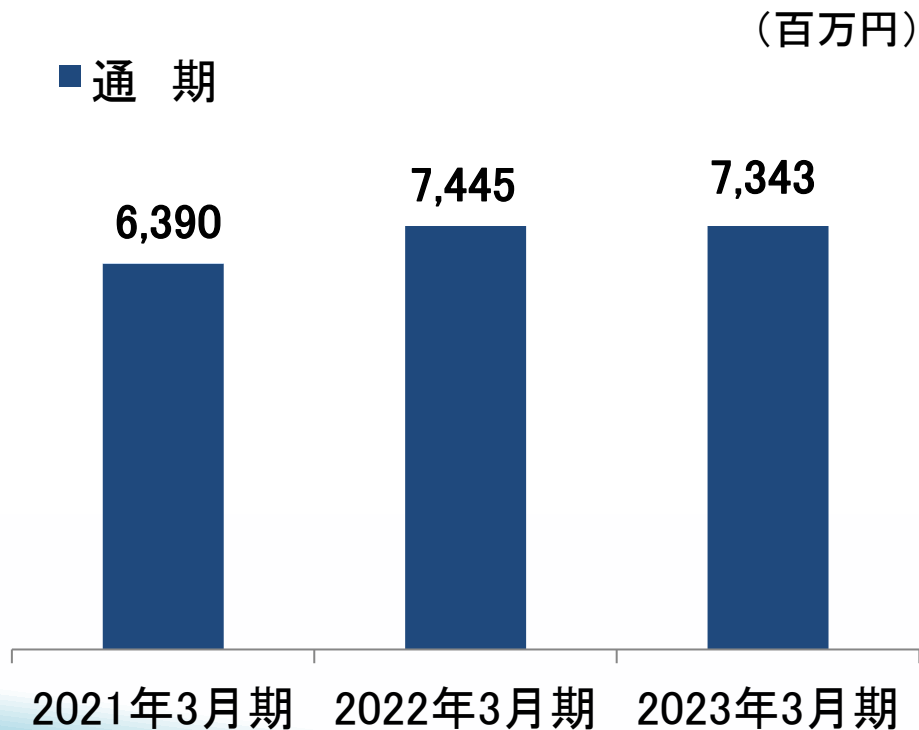
	(百万円)		
	2022年3月期	2023年3月期	前期比
便潜血検査用試薬	11,233	11,188	99.6%
免疫血清検査用試薬 (便潜血検査用試薬除く)	9,359	9,529	101.8%
尿検査用試薬	3,783	4,143	109.5%
微生物検査用試薬	3,924	3,938	100.3%
生化学検査用試薬	599	590	98.6%
器具・食品環境関連培地	2,252	2,165	96.1%
遺伝子関連(装置含む)	7,445	7,343	98.6%
医療機器関連(遺伝子以外)・ その他	4,396	4,373	99.5%
合計	42,996	43,271	100.6%



■セグメント別売上高 – 遺伝子関連(装置含む)



- 新型コロナ関連試薬は、第7波・第8波への対応、および感染状況によらず病院施設での手術前検査等の一定の需要が続いたものの、第4四半期の感染者数急減により、通期では売上微減
- ライセンス：特許料収入：1,554百万円（前期実績：1,165百万円）
第2四半期までの一時的なLAMP法の特許料収入増



■セグメント別売上高 — 便潜血検査用試薬・尿検査用試薬



➤ 便潜血検査用試薬

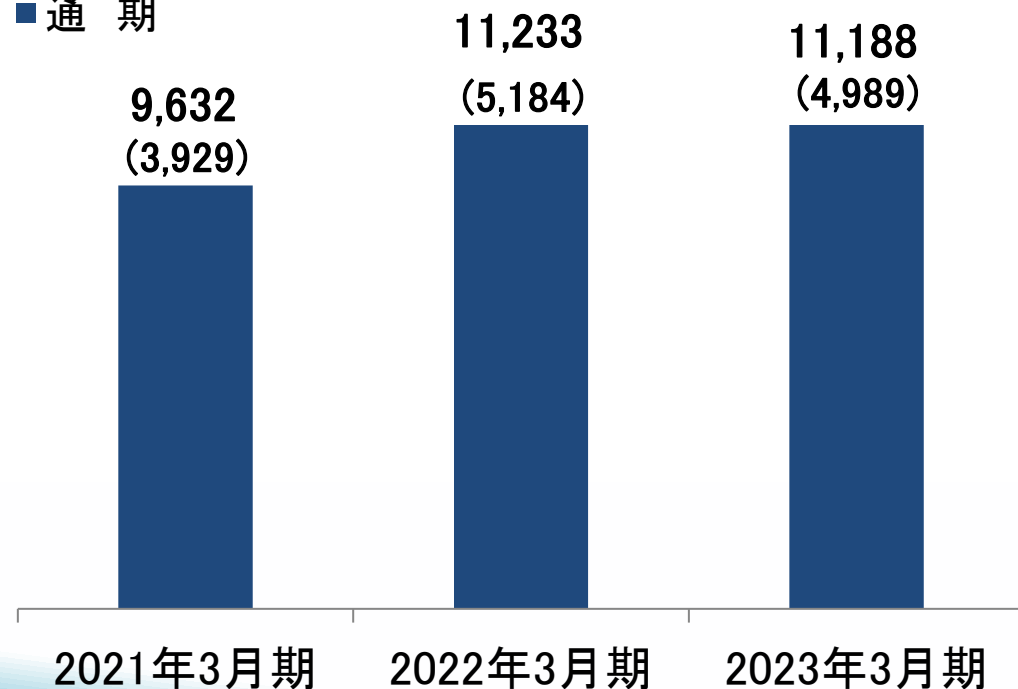
- ✓ 国内:コロナ禍前の水準までほぼ回復し増収
- ✓ 海外:欧州一部地域での新型コロナ影響による在庫調整の影響が残り減収

➤ 尿検査用試薬: 健診市場・外来患者数とも回復、シスメックス(株)向け販売が増加し増収

便潜血検査用試薬

(百万円)

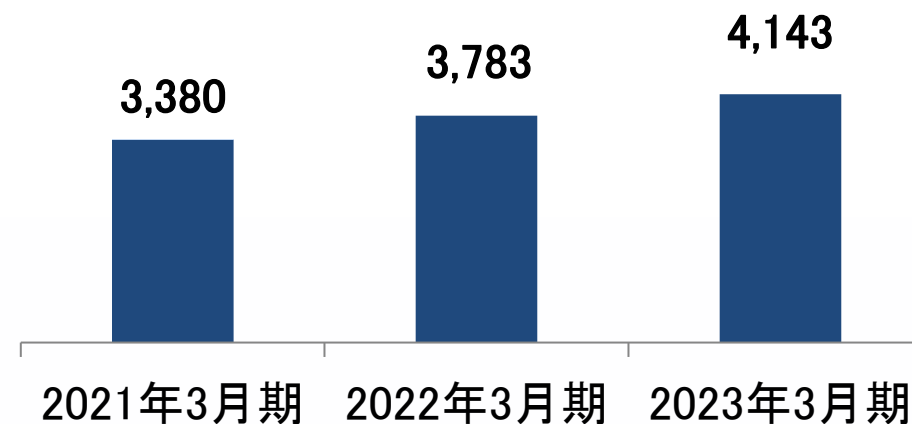
■ 通期



尿検査用試薬

(百万円)

■ 通期



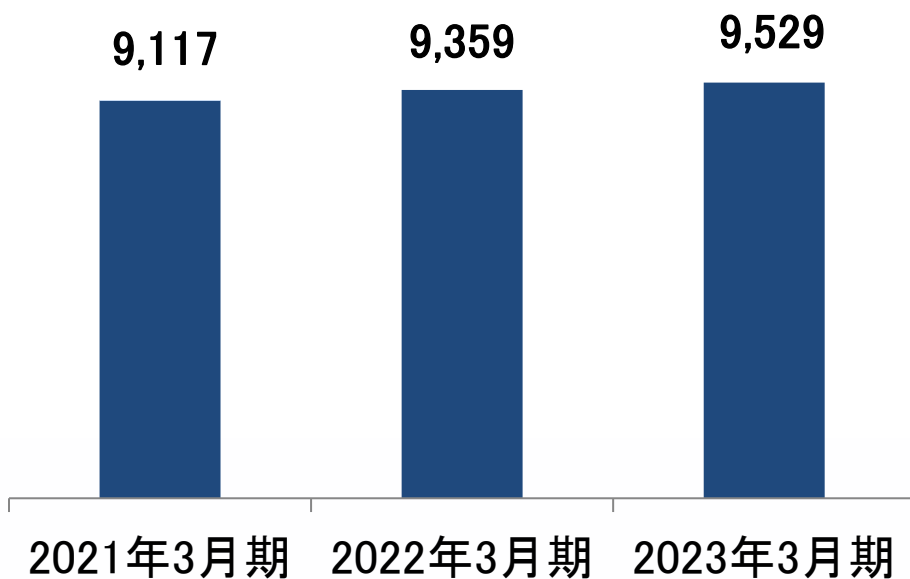
■セグメント別売上高 — 免疫血清検査用試薬・微生物検査用試薬



- 免疫血清検査用試薬：外来検査数が回復傾向にあり増収
- 微生物検査用試薬：新型コロナウイルス感染症以外の検査が回復傾向となり微増

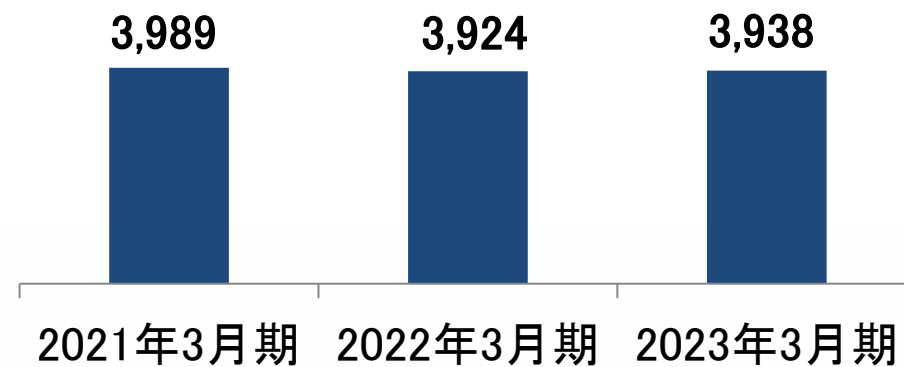
免疫血清検査用試薬

■通期 (百万円)



微生物検査用試薬

■通期 (百万円)



■ 海外向け売上高

(百万円)

【欧州】

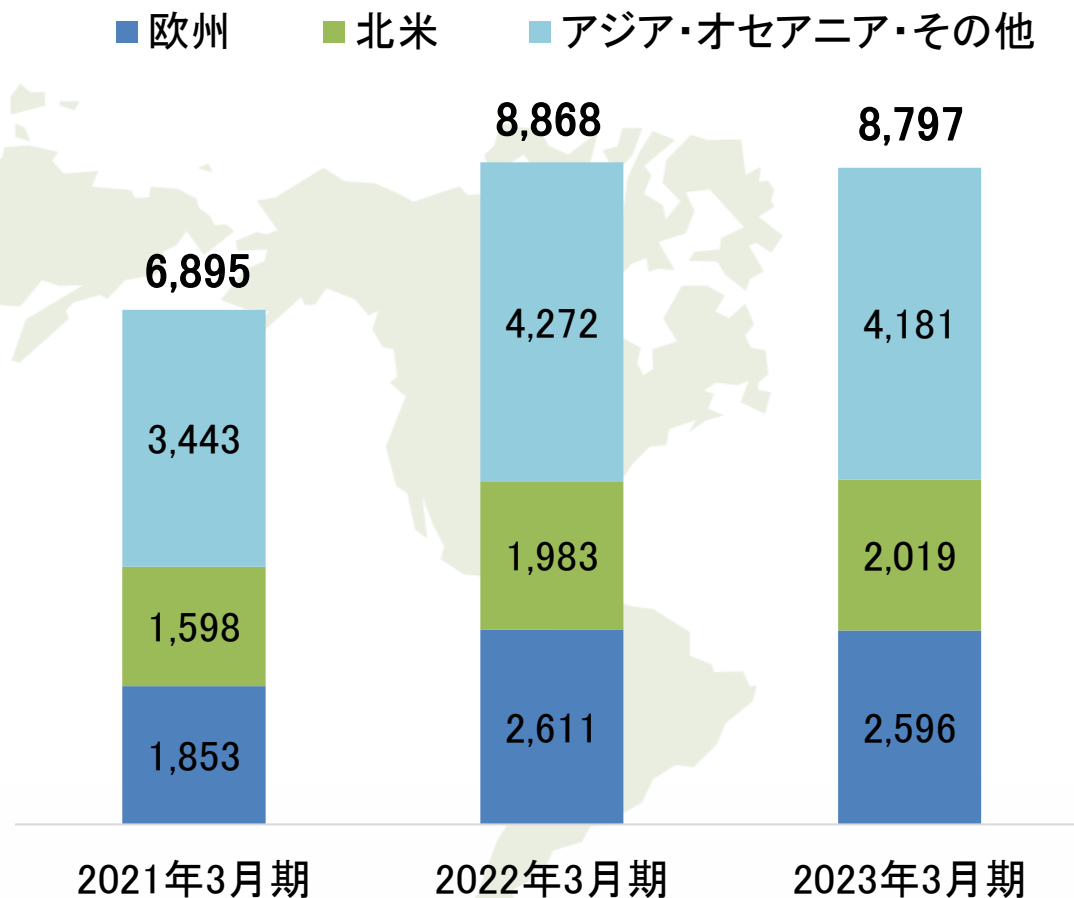
- コロナ後の検診急増を見込んだFIT※¹試薬の過剰在庫は、第2四半期までにほぼ解消したが、通期で減収
- カルプロテクチンは、エビデンスを蓄積し、販促推進

【北米】

- FIT試薬の一時的な在庫調整があったものの、需要の回復により増収

【アジア・オセアニア・その他】

- 主に中国のロックダウン、ゼロコロナの影響により減収
- オセアニア、韓国、台湾のFIT試薬はコロナ影響が少なくなり増収
- シスメックス(株)向けの尿検査用試薬販売は増加※²



※¹FIT=免疫法便潜血検査

※²海外向け尿検査用試薬の売上は全てアジア地域に含む

■ 連結貸借対照表(ハイライト)

(百万円)

	前期末	当期末	増減額
	2022年3月末	2023年3月末	
流動資産	37,039	39,217	2,178
うち現金及び預金	16,121	18,317	2,195
有形固定資産	15,275	17,202	1,926
無形固定資産	1,350	1,054	▲ 295
投資その他資産	8,847	8,802	▲ 45
資産合計	62,512	66,275	3,763

	前期末	当期末	増減額
	2022年3月末	2023年3月末	
流動負債	12,533	12,443	▲ 89
固定負債	4,175	4,296	121
純資産	45,803	49,535	3,731
負債・純資産合計	62,512	66,275	3,763

自己資本比率	72.8%	74.2%
--------	-------	-------

■ キャッシュ・フロー

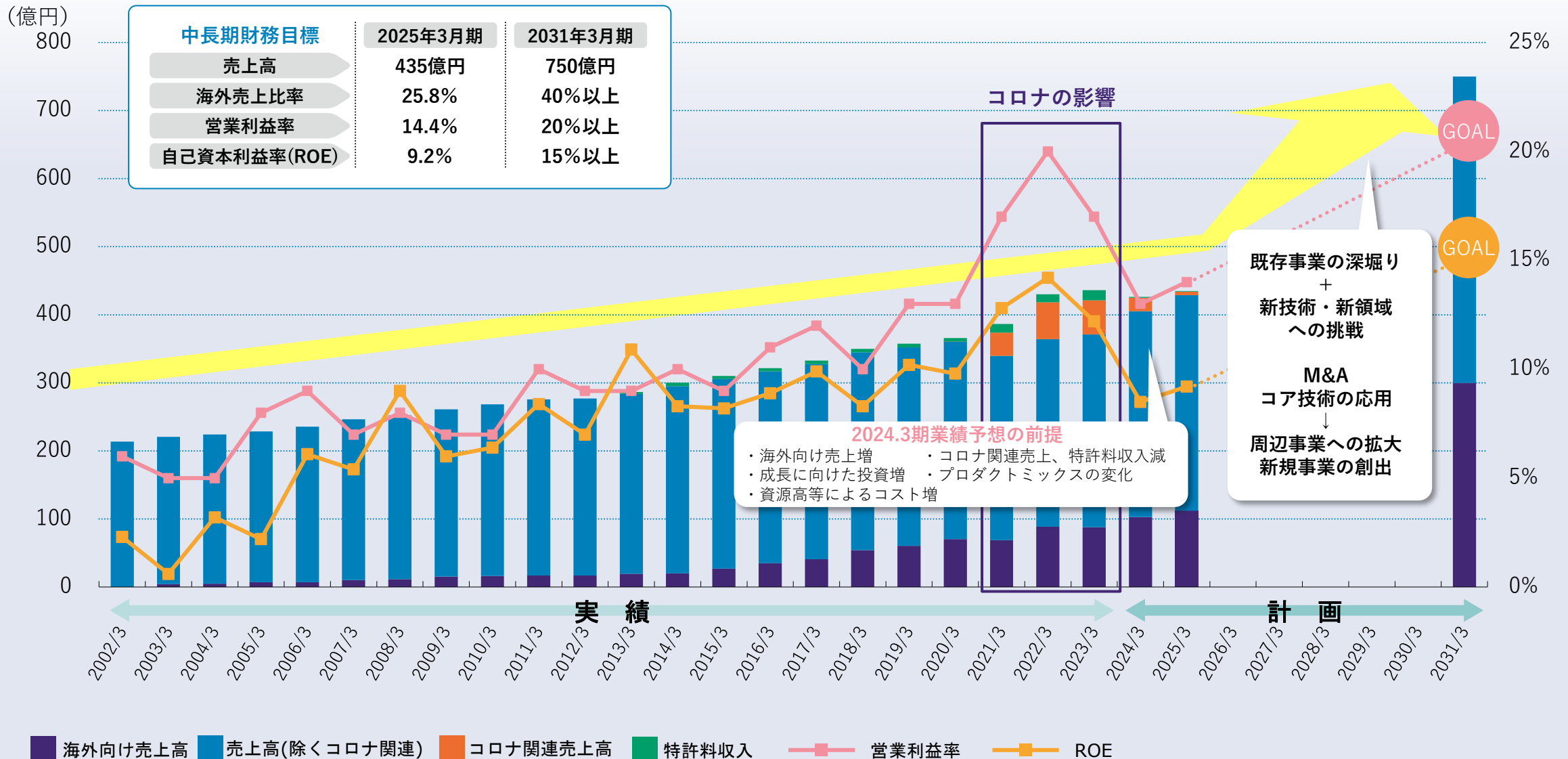
(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	主な内訳
営業活動によるキャッシュフロー	7,769	7,575	税金等調整前当期純利益 7,592 減価償却費 2,125 売上債権の減少 835 法人税等の支払額 ▲2,224
投資活動によるキャッシュフロー	▲5,044	▲316	有形固定資産の取得による支出 ▲3,206 投資有価証券の償還 3,000
財務活動によるキャッシュフロー	1,200	▲2,095	配当金の支払 ▲2,033
現金及び現金同等物の増減額	3,931	5,164	
現金及び現金同等物の期首残高	6,968	10,900	
現金及び現金同等物の期末残高	10,900	16,064	

2024年3月期業績予想と重点施策



2030年のあるべき姿に向かって持続的かつ揺るぎない成長を目指す



■ 2024年3月期 通期連結業績予想

(百万円)

2024年3月期 連結業績予想

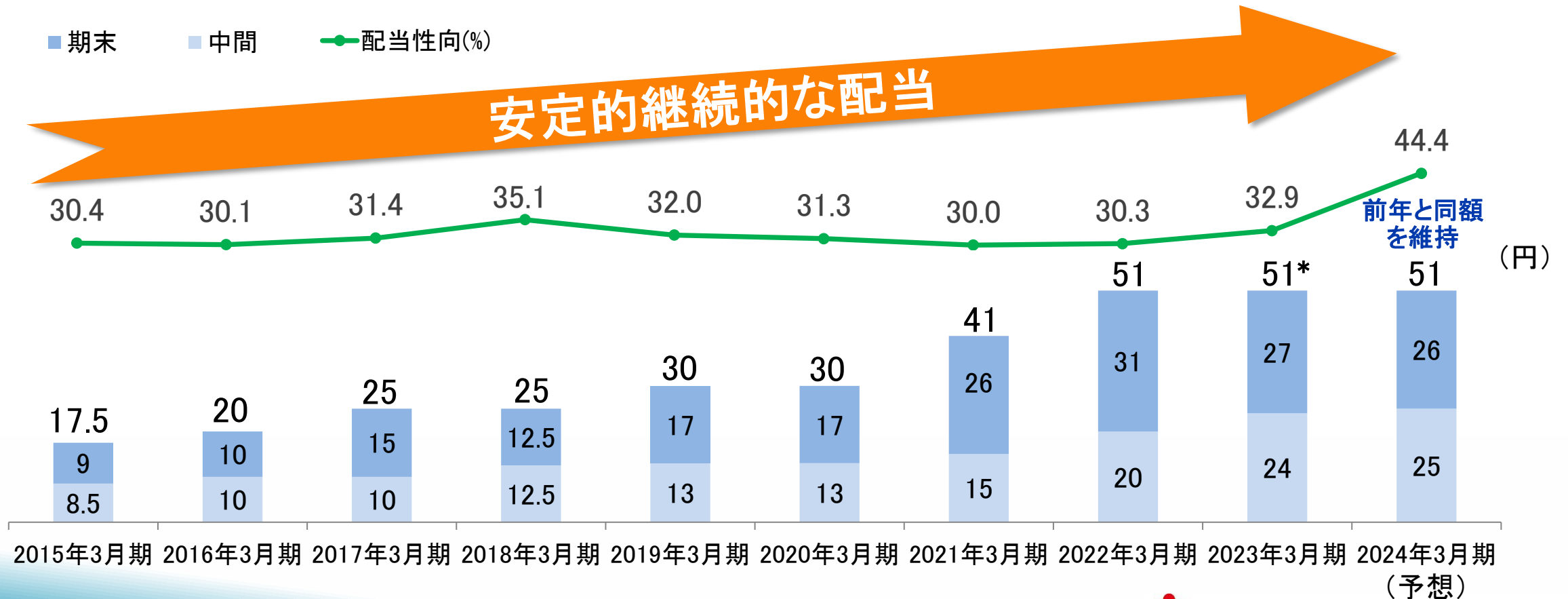
	金額	構成比	対前期比(%)
売上高	42,000	100.0%	97.1%
(うち海外向け売上高)	10,270	24.5%	116.7%
売上総利益	18,750	44.6%	91.4%
販売費及び一般管理費	13,370	31.8%	102.5%
営業利益	5,380	12.8%	72.1%
経常利益	5,400	12.9%	71.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,250	10.1%	74.1%



株主還元

株主還元方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。具体的には連結配当性向30%以上を目標としております。



* 2023年4月28日 期末配当3円増配(年間48円→51円)



EIKEN CHEMICAL CO.,LTD.

重点施策 ～中期3か年の注力分野～



がん
がんの予防・治療への貢献

個別化医療への貢献

- コンパニオン診断システムの上市

がん検診の普及とがん遺伝子検査技術開発

- 大腸がん検診受診率向上
便中がん遺伝子検査の開発
- ABC分類のグローバル展開

感染症
感染症撲滅・感染制御への貢献

TB、マラリア、NTDsの撲滅

- 開発途上国への診断薬普及、脅威となる感染症のモニタリングと迅速な対応

様々な感染症への対応

- 高感度免疫クロマトシステムの展開
- 感染症項目の充実
- 大規模病院向け薬剤感受性検査システム

ヘルスケア
ヘルスケアに役立つ製品・サービスの提供

遠隔診療への対応

- 郵送検診、内視鏡トリアージ検査の普及・拡大
- Web健診受診システム等の提供

炎症性腸疾患(IBD)への対応 (モニタリングからスクリーニングへ)

- 便中カルプロテクチンの展開

認知症予防

- 認知機能スクリーニング検査の普及

■ グローバル便潜血検査市場状況と戦略

グローバルでのFIT※市場拡大の構造的要因

- コロナにより非接触検査のFIT普及加速
- 内視鏡医不足に伴う検査キャパシティ不足
⇒ 内視鏡トリアージとしてのFIT活用
- FITの費用対効果の高さへの評価
(各国ガイドライン収載、論文掲載)
⇒ 化学法から免疫法への切り替え加速
⇒ 受診開始年齢の引き下げ (米・英など)
- 新興国における検診(健診)の普及

戦略

- 検診受診率の向上
⇒ 検査アクセスの向上
⇒ 次世代便潜血検査の開発
- 検査精度の向上
⇒ 付加価値の向上
⇒ 高精度な検査技術の開発
- 新規スクリーニングの獲得

アウトカム

- 大腸がんによる死亡リスク減少
- 早期治療による医療費の抑制
- QOLの向上
- 健康寿命の延伸

現在展開国数



2030年度展開国数



マテリアリティKPI「大腸がんスクリーニング検査の展開国数」

※FIT＝免疫法便潜血検査

重点施策 大腸がん検診受診率の向上・便中がん遺伝子検査の開発

検診受診率の向上

受診方法の拡張

医療アクセスの不便な地域での検診

検査アクセスの向上



郵送検診



オンライン検診



次世代便潜血検査の開発



郵送検診に対応した
受診勧奨アプリの開発



検体を安定化する
試薬の開発

様々な国での
輸送環境に対応

確実な大腸がん
検査の実行

検査精度の向上

患者、医療機関の負担大

欧州での内視鏡キャパシティ不足

付加価値の向上



より初期状態
のがんの検出



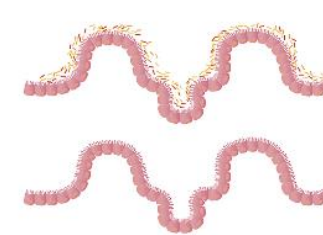
正診率の向上



高精度な検査技術の開発



miRNA
メチル化DNA



腸内細菌叢

内視鏡検査
対象者の絞り込み

患者負担の軽い
検査の開発



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

重点施策 コンパニオン診断システムの上市（受託検査）

包括的遺伝子変異検査システム …コンパニオン診断システム (Mutation Investigator using the Next-era Sequencer : MINtS)

薬事申請中 2024年3月期中の上市目標
受託検査事業の発足
『栄研化学クリニカルラボラトリー』新設

【特長】

- 肺がんにおける複数遺伝子異常の一括検出・薬剤選択が可能
- 組織だけでなく、**細胞診検体**でも検査可能（結果報告までが早い）
- 高感度（必要検体量が少ない）

【発展】

- 新たな分子標的薬に対応した標的遺伝子の追加
- 適応可能ながん種の拡大
- リキッドバイオプシー対応

MINtSシステム

前処理
(核酸抽出)



MINtS試薬
ライブラリ調製



NGS

塩基配列決定



解析プログラム

解析



報告



※既に先進医療で実施中（先進医療技術名：細胞診検体を用いた遺伝子検査）

市場規模
想定対象患者数
5万人

【展開プラン】

NEJSG*参加施設を中心に先進医療を実施中(20施設)

➡ その他NEJSG参加施設(約200施設)に拡販

受託検査事業の意義

- ・独自のがん遺伝子検査の推進
- ・常に、新しい検査(製品)を市場投入・検討し続ける場

*NEJSG: 認定特定非営利活動法人 North East Japan Study Group



■重点施策 便中カルプロテクチンの展開

- 世界で高いシェアを誇る当社便潜血検査システム(OCセンサーおよび採便容器)に対応
- 炎症性腸疾患(IBD)の診断補助および潰瘍性大腸炎疾患・クローン病の病態把握の補助※1
- IBDの非侵襲的な補助検査で頻回の内視鏡検査による患者負担の軽減に貢献



OC-FCa™ Reagent



OC-SENSOR Ceres



OC-SENSOR PLEDIA

世界のIBD患者
約500万人※2



採便容器

※1 国内においてもクローン病の病態把握の補助として承認を取得(2023年3月)

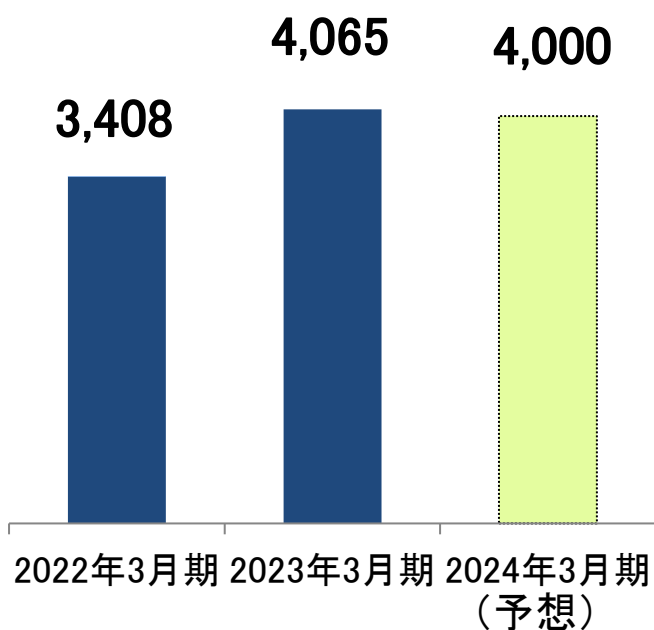
※2 参照:日経バイオテク

■ 研究開発費・設備投資・減価償却費

(百万円)

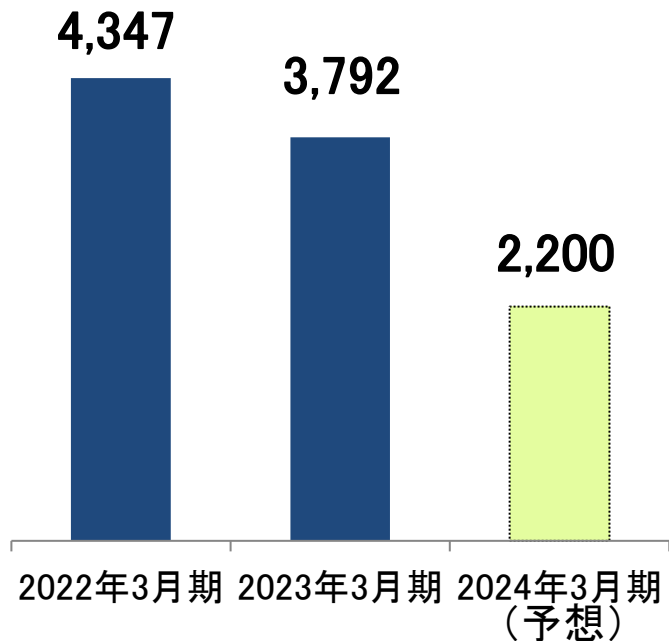
研究開発費

■ 通 期



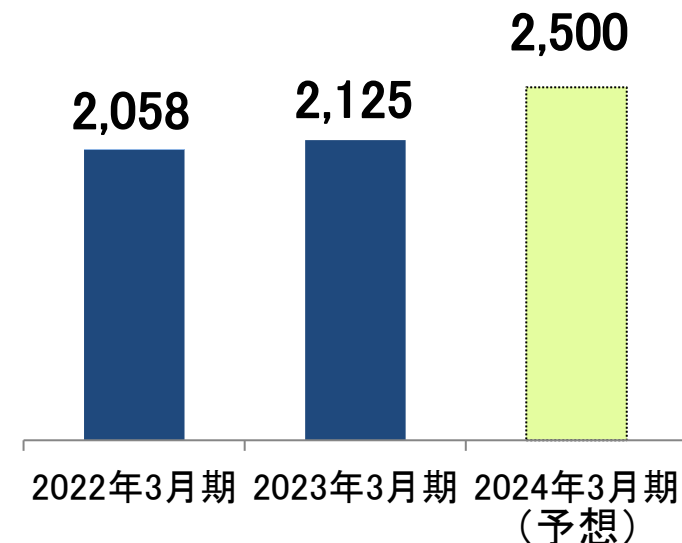
設備投資

■ 通 期



減価償却費

■ 通 期



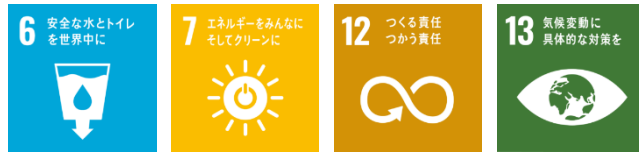
- 研究開発費は主に各種装置の開発費用
- 設備投資は新研究棟が竣工したことにより2024年3月期については前期比減
- 減価償却費は主に新研究棟関連の償却を開始したことにより2024年3月期は増加

サステナビリティ

■ サステナビリティ経営の推進

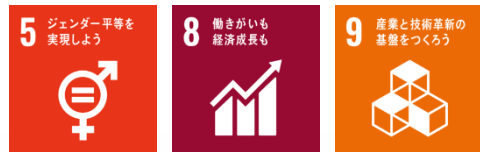
地球環境と調和した事業活動

- 気候変動への対応
- 循環型社会への貢献



人を活かした活力ある企業

- 人権・多様性の尊重
- 従業員エンゲージメントと人財育成
- 健康増進・安全衛生



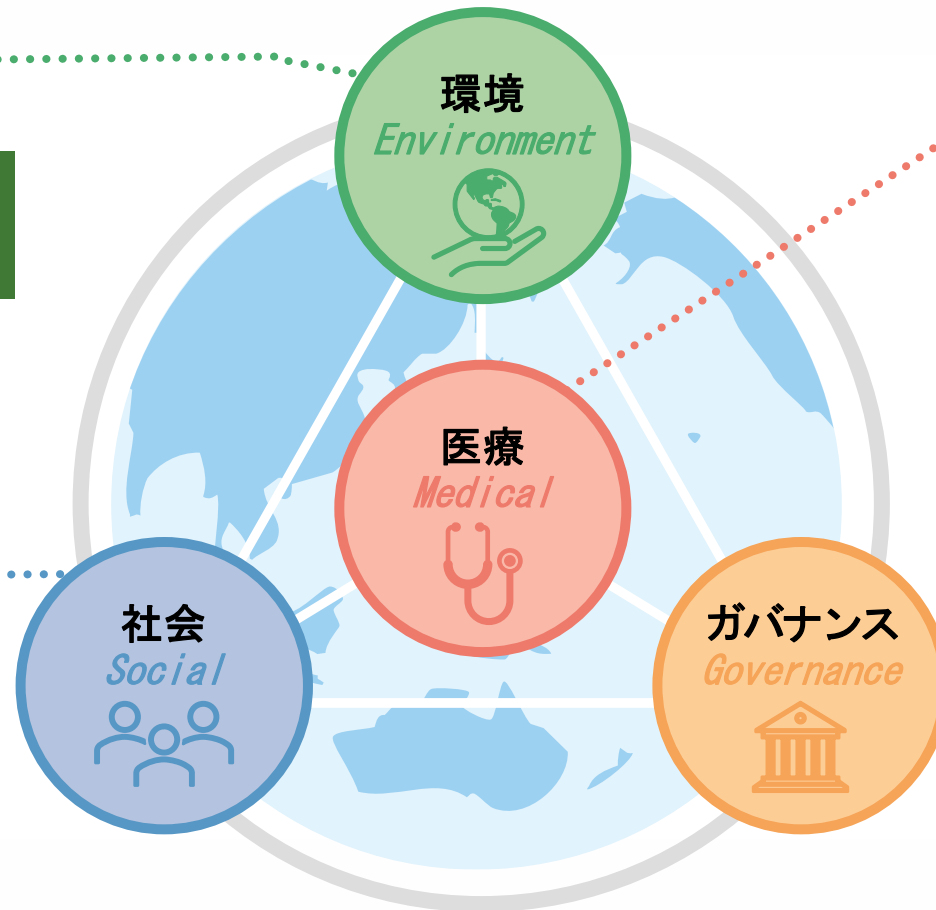
世界中の人々の健康で豊かな生活への貢献

- 医療へのアクセス向上
- 医療課題の解決
- 品質の追求と持続可能なサプライチェーン



持続的成長を支える組織基盤

- 透明で健全なガバナンスの実現
- コンプライアンスと腐敗防止の徹底
- リスクマネジメントの確立



サステナビリティ: <https://www.eiken.co.jp/sustainability/>

マテリアリティとKPI一覧表: https://www.eiken.co.jp/uploads/Materialities&KPIs_220720jp.pdf

人財フォーカス経営によるイノベーションの創出

やりがい・働きがいの追求
Team × Challenge

人財戦略の考え方

従業員のチャレンジ志向を高める
新人事制度導入と人財投資拡大

【組織・風土】

人を育て人を活かした
活力ある企業

- 従業員の働きがいの向上
- チームワークの重視
- 創造性と開拓者精神の発揮

【労働環境】

多様性・人間性を尊重した
全員活躍の推進

- ライフステージに合わせた働き方
- 健康経営の推進
- 多様性・人間性の尊重

【採用及び人財育成・評価】

自ら挑戦し成長する意思がなければ個もチームも成長しない

- 高い目標に挑戦する機会の提供
- 自己研鑽の推奨
- チームとしての成果の重視

新人事制度(2023年4月～)

- 専門性・職務適性を踏まえたキャリア設計の複線化
- チームワークやチャレンジを引き出す評価制度
- 仕事基準の報酬をベースとし、役割・コンピテンシーと連動した報酬制度
- ハイパフォーマー人財の早期登用を実現する昇格制度
- 若手への権限委譲と報酬の連動



■サステナビリティピックアップ

- ◆ サステナビリティ委員会の設置
- ◆ FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexに組み入れ(初)
- ◆ NTDs(顧みられない熱帯病)制圧にむけた「キガリ宣言」に署名
- ◆ 「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞を受賞
- ◆ TCFD賛同表明および情報開示
- ◆ カーボンニュートラルに向けて水力発電由来の再生可能エネルギー「とちぎふるさと電気」の導入(野木事業所・那須事業所の電力由来CO₂ゼロ)
- ◆ 小山市(栃木県)渡良瀬遊水地湿地保全サポート団体に認定
～生物多様性生態系及び生物多様性の回復への貢献～



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



検査の未来を創り
世界の人々の健康と持続可能な社会の実現へ



EIKEN CHEMICAL CO.,LTD.

Saving Your Health

世界的な臨床検査薬企業として、人々の健康を守り続ける

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

